



2026 年 8 月 20 日

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

ダイナミックマッププラットフォーム、東京ゲームショー 2026 に出展 自動運転・フィジカル AI 向けに整備した空間データのゲーム活用を提案

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO:吉村 修一、以下「当社」)は、2026 年 9 月 17 日(木)から 18 日(金)に幕張メッセで開催される「東京ゲームショー 2026」のビジネスデイに出展することをお知らせします。

当社は、自動運転やフィジカル AI 分野で活用を進める空間データを、ゲームや CG、XR などエンターテインメント分野へ展開しています。

今回、ゲーム関連の BtoB 企業を対象とした「ビジネスソリューションコーナー」において、レースゲームやオープンワールドゲームなどの開発で活用可能な道路空間データ活用ソリューションを展示します。実在する道路空間や街並みを再現する際の 3DCG 制作やロケーション調査の効率化を支援する各種データ活用方法をご紹介します。



■展示内容

- **高精度 3 次元データ(高精度 3 次元地図データ・点群データ)を活用したゲーム向け道路環境構築**

当社が保有する高精度 3 次元地図データには、道路の車線情報や道路形状、曲率、勾配、高さ情報などが収録されています。これらのデータを活用することで、レースゲームやオープンワールドゲームにおける実在の道路環境をベースとした 3DCG モデリングを効率的に進めることができます。

また道路や周辺環境の再現性を高める際には、当社の点群データを参照することで、道路や周辺環境を任意の視点から確認できます。一般的な地図サービスが上空からの閲覧を中心としているのに対し、点群データでは地上目線や任意方向から道路環境を確認できるため、現地調査の負荷軽減や制作効率向上に貢献します。

当社は日本をはじめ、北米・欧州・韓国・中東などグローバルで約 180 万 km の高精度 3 次元データを保有しており、ゲーム開発における実在空間の再現ニーズに対応可能です。

展示ブースでは、昨年度にデータ提供を行った Apex Studio での活用イメージをはじめ、実在空間データを活用したゲーム制作の可能性をご紹介します。



Apex Studio における高精度 3 次元データ活用イメージ

- **3D Gaussian Splatting(3DGS)を活用したフォトリアルな参照データ**

当社の高精度 3 次元地図データ、点群データ、360 度カメラ画像を活用して生成した 3D Gaussian Splatting(3DGS)データも展示します。

3DGS は、実在する道路や沿道環境をフォトリアルに再現できる 3 次元データ形式です。ゲーム開発においては、背景制作や構図検討、3DCG アセット制作時の参照情報として活用できるほか、開発チーム内で実際の道路環境を共有するための素材としても利用できます。

当社の 3DGS データは、走行中の車両や歩行者などの移動体を除去したノイズレスな道路空間を再現していることが特長です。ゲーム開発者は不要な映り込みに影響されことなく道路構造物や沿道環境を確認できるため、実在空間を参照したコンテンツ制作の効率化に貢献します。また、自由な視点から空間を確認できるため、現地調査の代替やロケーションリサーチ用途としても活用できます。

展示ブースでは、実際の道路空間を再現した 3DGS デモ映像を展示し、ゲーム開発における活用イメージをご紹介します。



3D Gaussian Splatting(3DGS)データイメージ

当社は今後も、自動運転やフィジカル AI 分野で培った空間データ基盤を活用し、ゲーム、CG、XR などエンターテインメント分野への展開を進めることで、空間データの新たな活用価値の創出に取り組んでまいります。

ゲーム、CG、XR コンテンツ制作に携わる企業・クリエイターの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

<出展概要>

名称	東京ゲームショウ 2026
会期	2026 年 9 月 17 日(木)～18 日(金)10:00～17:00
会場	幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1)
出展エリア	ビジネスソリューションコーナー
ブース番号	09-W105
出展内容	✓ 高精度 3 次元地図データ・点群データを活用したゲーム向け道路環境構築 ✓ 3D Gaussian Splatting(3DGS)を活用したフォトリアルな参照データ
主な対象	ゲーム開発会社、CG 制作会社、XR 関連企業、シミュレーション開発企業等
公式サイト	https://tgs.cesa.or.jp/2026/

<ダイナミックマッププラットフォーム株式会社について>

当社は日本政府によるバックアップのもと、国内自動車メーカー10 社等の出資により設立されました。日本をヘッドクォーターに、北米・欧州・中東・韓国に拠点を構え、現在 26 ヶ国で事業を展開。自動運転や先進運転支援システム(ADAS)をはじめ、シミュレータ環境構築、インフラ管理、除雪支援など、幅広い用途に向けて高精度 3 次元データを提供しています。

「Modeling the Earth」＝地球のデジタル化をビジョンに、高精度 3 次元データのプラットフォームとして、様々な産業分野におけるイノベーションを共創します。

設立: 2016 年 6 月

本社: 東京都渋谷区

代表者: 吉村 修一

事業内容: 自動運転・ADAS をはじめ多様な産業を対象とした高精度 3 次元データの提供

公式サイト: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>

公式 X: https://x.com/dynamic_maps

本資料は、以下の記者クラブに配布しています。

○経済産業記者会

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社 広報課: 野村
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-4 ネクストサイト渋谷ビル 12 階
電話: 080-7706-3819 Mail: Nomura.Eriko@dynamic-maps.co.jp